

「市の財政状況と経営改革」住民説明会会議録

1 会議の名称	「市の財政状況と経営改革」住民説明会
2 開催日時	平成 26 年 10 月 21 日（火） 19 時 00 分～21 時 15 分
3 開催場所	大堀 2 区集会場
4 審議等事項	持続可能な行政運営に向けて
5 出席者名	（説明員）佐久間市長、高橋副市長、小泉総務部長、 刈込企画財政部長 （事務局）小柴行政管理課長、重城財政課長 （司会）笹生総務課長
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第 23 条第 号に該当 （理由）
8 傍聴人数	120 人（定員 人）
9 所管課	総務部行政管理課行革推進係 電話 0439-80-1211
10 会議録（発言の内容）	別紙のとおり

「市の財政状況と経営改革」に係る住民説明会会議録

発言者	発言内容
総務課長	<p>定刻となりましたので、始めさせていただきます。</p> <p>本日は、夜分お疲れのところ、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>ただ今から市の財政状況と経営改革に係る住民説明会を開催いたします。</p> <p>今回の説明会につきましては、先の新聞・テレビ等の報道につきまして、改めて市民の皆さまにお伝えすることを目的として、市内小学校区 11 地域で開催するものでございます。</p> <p>また、開催に当たりましては、地元の区長さんや役員さんには、期間のないなか、会場の手配や、回覧等に特段のご配慮いただき、誠にありがとうございました。</p> <p>次に、開催の前に本日の説明員の紹介をさせていただきます。</p> <p>市長の佐久間清治でございます。</p> <p>副市長の高橋恭市でございます。</p> <p>経営改革等を主管する総務部長の小泉義行でございます。</p> <p>財政運営等を主管する企画財政部長の刈込幹夫でございます。</p> <p>申し遅れましたが、本日の司会進行を務めます総務課長の笹生と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>次に、説明資料がお手元にあるかご確認ください。大丈夫でしょうか？</p> <p>最後になりますが、ご質問につきましては、市長以下説明員の説明の後にお受けしたいと思っておりますので、あらかじめご了承をお願いいたします。</p> <p>なお、説明を含め、一応の終了の時刻の目安を午後9時とさせていただきます。状況により変更をさせていただきたいと考えております。</p> <p>それでは、始めに市長からご説明申し上げます。</p>
市長	<p>皆さん、こんばんは。</p> <p>夜分、お疲れのところ、また、本来であればお宅でお寛ぎの時間かと思えますけれども、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>この度、富津市の財政状況につきまして、新聞やテレビ等の報道、そして、インターネット等を通して、住民の皆さん方に、ご不安とご心配をおかけしましたことにつきまして、改めて説明をさせていただきたいと考えているところでございます。</p> <p>座って説明させていただきます。</p> <p>まず、皆さんに正確にお知らせしなければいけないことにつきましては、富津市は、これまで赤字を一度も出したことはありませんし、また現在、赤字になっているわけではありません。</p> <p>また、破たんもさせません。</p> <p>今回、記者発表させていただきましたのは、このまま何もせずに行行政運営を続けていくと、財政状況は赤字になり、5年後に財政破たんし</p>

てしまう可能性があるということでございます。

富津市では、これまで安全・安心のための事業を優先して行ってきたこと、また、年々増加する社会保障費、また、税収の減少などによりまして収支不足が見込まれるなかでその財源不足を補うため、市の貯金であります財政調整基金を取り崩して参りました。

富津市の財政状況がこれまでと大きく違うのは、この財政調整基金が底をつき、平成 27 年度以降の赤字決算が現実のものとなったことからでございます。

お手元に配布いたしました資料中段左の「収支見込みのポイント」をご覧ください。

このままでいきますと、平成 27 年度から 31 年度までの 5 年間の財源不足額は 28 億円、平成 30 年度には積み重なった赤字額が 22 億円となりまして、財政再生団体となる可能性のある極めて厳しい見込みであります。

財源不足を補うための財政調整基金残高は、わずか 2 億円となります。

現在、赤字になっているわけではありませんが、しかし、従前の財政収支改善策や、単年度の予算査定を中心とした歳出削減などの取り組みだけでは、この状況を克服することは困難であります。

そのために、これまでの財政運営だけに目を向けた改革ではなく、行政運営全体を見直す経営改革を断行するものであります。

次に、資料最下段の四角枠、経営改革内容をご覧ください。

これまで皆さんから問い合わせをいただいておりますが、基本的に住民サービスは適正に維持して参ります。

まず、「①将来に向けての財政基準の作成及び実行」ですが、ここにお示ししました取組みを中心とした経営改革のための具体的なプランを策定するとともに、これまで財政調整基金を取り崩して財源としてきた富津市の財政運営を反省し、当該年度の歳入をもって歳出を賄うなど財政規律を厳格化して参りたいと考えております。

次に、「②公共施設の見直し」ですが、現在の危機的な財政状況を招いた大きな要因は、多くの公共施設を建設する際に、財源とした起債の償還額とその維持管理費の増大にあるといえます。市として真に必要な施設だけを将来世代に良好な状態で残し、それ以外の利用度の低い施設、あるいは、維持管理費の高い施設などにつきましては、売却、あるいは、広域化などを積極的に進めて参りたいと考えております。

次に、「③事務事業の聖域なき抜本的な見直し」、「1 税収の確保」ですが、今後、税収の増加が見込まれない状況のなか、引き続き、滞納処分により税負担の公平性の確保をして参りたいと考えております。

「2 職員数の削減」ですが、現在の危機的な財政状況を回避するには、まず、内部経費を削減することに全力を尽くさなければなりません。歳出の大きな部分を占める「人件費」の割合を削減することは当然であり、職員数の大幅な削減を実行して参りたいと考えております。

「3 行政サービスの見直し」であります。サービス水準を維持しながら、公共として将来にわたって提供すべきサービスの範囲はどこまでか、あらためて考える時期に来ていると考えます。民間に任せるべき事務も多くなってきておりました。サービス提供のあり方は多様化しておりますので、公共の直接行うべき範囲、民間に委ねるべき範囲を考えあわせ見直していきたいと考えております。

「4 受益者負担の見直し」ですが、行政が、特定の方を対象とし、サービスの給付をする場合、無料ないし過度に低廉な料金で提供することは、公平性の観点から望ましいものではないと考えます。行政サービスのコスト負担について、どこまでを「受益者負担」とするのか、見直して参りたいと考えております。

「5 民間活力の活用」ですが、行政サービスを受ける住民の皆さんにとっては、サービスの質が保証されることが一番重要であり、それが担保されれば、民間が供給する方が効率的である場合が多く見受けられます。行政サービスのなかでも、民営化・民間委託化が可能な分野は、費用対効果を考慮し、積極的に推進し、効率的なサービス提供を図って参りたいと考えております。

次に、資料下段右の「富津市経営改革会議」をご覧ください。

これら経営改革の内容を話し合うため、有識者で構成する「富津市経営改革会議」を設置いたしました。

今月 31 日の第 1 回会議をはじめといたしまして、議論していただくことを考えております。

最後に、この経営改革につきましては、私が先頭に立ち、職員一丸となって断行して参ります。

皆さまの更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。説明とさせていただきます。

次に、これまで説明会を開催してきているところでございますけれども、そのなかでありました主な質疑内容につきまして、ご報告をさせていただきます。皆さん方に資料がなくて申し訳ありませんけれども、お聞きいただきたいと思っております。

まず、今回の報告関係につきまして、「どうして夕張市と同じや破たんの報道が出たのか」、ということでございますけれども、先ほども申し上げましたとおり、財政調整基金残高が、底をついたことから、3 か月ごとに開催しております 8 月 29 日の定例記者会見におきまして、経営改革の取り組みのなかで、中期収支見込みを発表いたしました。

この説明では夕張のようになります、破たんしますというような記者発表をしたわけではございません。このまま何もしなければ、5 年後には財政再生団体のレベルに達してしまうので、今の段階で抜本的な改革を実行すると発表いたしました。その際、財政再生団体の説明で、夕張市を例にしてお話したことは事実でございます。これが報道機関によって特別にクローズアップされたというところでございます。

次に、「イメージダウン回復の戦略」ですが、当たり前のことでございますけれども、できるだけ早く財源不足を解消し、そのことを住民の皆さんにお知らせできるように、経営改革を断行して参ります。この

間につきましても、改善状況をお知らせして参ります。

次に、財政状況についてですが、「身の丈にあったというのはどういう意味か」ということをございますけれども、歳入の一般財源の規模をもって、すべての経費を賄うということであります。具体的には、中期収支見込みで見込んだ一般財源 110 億円程度を見込んでおります。

次に、「固定資産税が減少するのはわかっていたのではないか」「計画の段階で先が見えなかったのか」ということをございますけれども、これまで市では 5 か年計画をはじめ、さまざまな計画を策定して参りました。リーマンショック、あるいは、東日本大震災、障害者自立支援法など国の制度の相次ぐ見直し等の特殊要因があったにせよ、その計画が結果的に過大であったことは、真摯に反省しております。

次に、「市税の滞納額も財政悪化の要因では、徴収を強化すべきでは」というご質問がございました。今までにも増して、滞納処分を強化して参ります。

次に、「国保などの社会保障費の増加は県や市町村の問題ではなく、国への提言を怠っているのではないか」というご質問がございました。これにつきましては、全国市長会などをとおしまして、強く国の方へ申し出ているところでございます。

次に、経営改革関係につきまして「経営改革での具体的な見直し対象」というご質問でございます。普通建設事業費のうち未着手事業につきましては、例外なく見直しをいたします。着手済みの事業につきましても、その効果を再検討し、見直しをしていきたいと考えております。

職員数につきましては、抜本的にスリム化いたします。

公共施設は、適正な水準に保ちます。

財政状況が厳しいからと言って、介護、国保のような法定サービスは安定した状態で運営を行います。

個人の市民税・固定資産税などの普通税を引き上げるようなことは当然ながらいたしません。

次に、「学校統廃合にこれだけ時間を要している状況で、経営改革を短期間で断行できるのか、全てをゼロベースで見直さなければならない」ということをございます。関豊小、環小が来年度から合併になります。市側の意見だけでは進められませんけれども、他の学校につきましても、今教育委員会・教育部の方で計画に基づき、順次地元の意見を聞きながら、進めているところでございますし、そのようにもっていただければと考えております。

また、経営改革は短期的なもの、中・長期的なものとは区別して進める必要があります。経営改革会議はこれら市の考え方を提示して意見をもらうかたちとなります。

「改革にあたっての削減目標額は」というご質問でございます。

まず、来年度予算で 3 億円の赤字を解消する、最終的に、今後 5 年間で 28 億円の赤字を解消するとともに、災害等に備え、できるだけ財政調整基金を積み増しして参りたいと考えております。

次に、「どんな事業をやめるのかははっきり示してほしい」ということ

	<p>でございます。</p> <p>経営改革プランを作成するなかで、また、経営改革会議で議論していただき、示していきたいと考えております。</p> <p>「特別職報酬と一般職の給与削減は実施しないのか」というご質問がございました。現在私が 15%の報酬削減、また、一般職は 4%の給与削減などを実施しておりますけれども、特別職につきましては、更なる見直しを実施して参りたいと考えております。</p> <p>「震災時の状況から、職員数削減以前に事務事業の見直しを優先すべきではないか」ということご質問がございました。当然、事務事業の見直しは実行して参りますが、並行して我々が標準と考える職員数まで削減を実行していきます。</p> <p>次に、「経営改革会議はどのような人で何名か」というご質問がございました。これにつきましては、国地方行政経験、会計制度に精通された大学教授 2 人、公認会計士 1 人、会社社長 1 人、県庁職員 O B 1 人の計 5 人でございます。</p> <p>既にそれぞれ内諾はいただいておりますけれども、現時点で正式に承諾をいただいている方がいらっしゃいますので、承諾をいただいでから公表する予定でございます。</p> <p>次に、「経営改革会議委員に市民を入れないのはなぜか」ということでございますけれども、客観的な視点から富津市の状況について議論していただくことを考えまして、今回は外部有識者の大学教授をはじめとする、ただ今申し上げました委員構成といたしました。</p> <p>次に、その他についてでございますけれども、「議会の取り組みは」ということご質問がございました。このご質問につきましては、我々執行部とは別に、議会自ら、いろいろな角度からの改革を検討されているとお聞きしているところでございます。</p> <p>次に、「市民との対話の機会が少ない」ということでございます。過去、対話集会を何度か実施して参りました。今後、他のテーマを含めまして、機会を作っていくたいと考えております。</p> <p>また、「市長の決意表明は」ということでございます。現在の財政状況を回復させることが私の使命であります。私の任期中できるだけ早く住民の皆さんによい報告ができるよう、経営改革を断行して参ります。</p> <p>破綻はさせません。</p> <p>以上でご報告を終わらせていただきます。</p>
<p>総務課長</p>	<p>続きまして、補足説明を副市長及び両部長から説明申し上げます。</p>
<p>副市長</p>	<p>皆さまこんばんは。</p> <p>大変お仕事お疲れのところ、夜分お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>また、会場の関係上、廊下にお座りいただいている皆さまに関しましては、大変失礼を申し上げますが、ご理解・ご協力をいただければと思っております。</p>

また、今回私どもの発表いたしました、今後の経営改革の取り組みについて、マスコミ報道を通して、皆さまに、大変なご心配をおかけしましたことを、冒頭に心よりお詫びを申し上げるところであります。私も説明は着座にてさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。

ただ今、市長が申しあげました経営改革の取り組みにつきましては、市長の命を受けまして、私の指示により、市役所全庁を挙げ、既に取り組みを始めさせていただいております。市役所内部に関するることにつきましては、あらゆる事務事業を広い視野と、あらゆる可能性を諦めずに、見直し、確認することを指示いたしますとともに、職員の提案や意見も取り入れ、作業に入らせていただいております。また、今後につきましては、経営改革会議のご意見を伺いながら、経営改革全般の方向性を取りまとめて参りたいと考えております。

差し迫りまして来年度予算につきまして、できるものから即実行して参ります。

本日は、この後、財政状況につきましては、企画財政部長から、これまでの行政改革の取り組みにつきましては、総務部長から説明をいたさせますので、お聞き取りいただきますよう、お願い申し上げます。

皆さまには、今後の経営改革断行にご理解、ご協力賜りますようお願いを申し上げます。

本日は、よろしくお願ひいたします。

企画財政部長

先ほど市長から「市の財政状況」について説明いたしましたが、私からは「このような財政状況に至った原因」につきまして、補足させていただきたいと存じます。失礼ですが着席させていただきます。

本市は、平成 11 年度にそれ以前の事業の借入金により、債務が増大したことから「財政非常事態宣言」をいたしました。

そこで、債務を減少させ危機的な状況を回避するため、平成 11 年に「財政健全化計画」を策定し、これに基づき財政の健全化に向けて計画を実行しまして、その効果により債務が減少しましたので、平成 17 年度には「財政非常事態宣言」を解除いたしまして、その後もそこで定めまして、財政収支改善策を恒久的なものとして取り組んできたところでもあります。

しかしながら、昭和 60 年から続きます生産年齢人口の減少、また、長引く景気の低迷による個人や法人の市民税の減収や、また、税収の根幹であります、固定資産税の大幅な減収に加えまして、生活保護者の増加や、高齢化の進行によります障がい者や、介護を必要とする方々が増加いたしまして、扶助費、社会保障費関係でございますが、毎年増え続け、年々財政状況は厳しさを増しているところでもあります。

このような状況のなかであります、歳入の減少に対応いたしました職員の定員管理を中心といたします総人件費の抑制も不十分であったこと、また、近年、財政調整基金を活用いたしまして、総合計画をはじめとする、様々な計画に基づく事業を行ってきたところ、その計画が結果的に過大であったことも、今般の状況に至った原因と考えて

	<p>おります。</p> <p>最後になりますが、今回公表いたしました、来年度の財源不足額は、3 億円ではありますが、一般財源総額 110 億円に占める割合は 3%でありまして、夕張市の場合は、これが 700%ですので、まったく異なり、比較にはなりません。</p> <p>経営改革の実行によりまして、十分回復可能な数字であることをご理解いただければと存じます。</p> <p>以上で私からの説明を終わらせていただきます。</p> <p>よろしくお願いたします。</p> <p>私からは、今まで取り組んで参りました財政健全化対策、財政収支改善策、行財政改革につきましてご説明をさせていただきます。着座にて失礼させていただきます。</p> <p>まず、財政健全化対策ですが、平成 5 年度から 16 年度まで実施をして参りました。また、財政非常事態宣言を解除いたしました、平成 17 年度からは財政収支改善策を実施して参りました。</p> <p>これに並行して、行財政改革を、平成 11 年度から 15 年度まで第一次、平成 16 年度から 21 年度まで第二次、平成 22 年度から 24 年度までを第三次といたしまして推進をして参りました。</p> <p>まず、歳入確保策といたしましては、各種基金の設置目的に沿った処分や、未利用地の売却処分などでございます。未利用地の売却処分につきましては、現在も引き続き実行をしております。</p> <p>次に、人件費の削減といたしまして、職員数の削減、特別職の報酬カットや職員給与の昇給延伸などの抑制、手当の引下げ、議員等の定数の削減や手当の見直し、学校用務員や調理場調理員の非常勤化などでございます。</p> <p>次に、維持管理費などの削減といたしまして、市営バスの廃止や、公共借地の見直しなどでございます。</p> <p>最後になりますが、補助金や交付金などの削減といたしまして、補助金等の見直しを実施して参りました。</p> <p>このようなことで、約 117 億円を削減して参りました。</p> <p>非常に簡単な説明で申し訳ございませんが、説明を終わらせていただきます。よろしくお願いたします。</p>
<p>総務部長</p>	<p>説明は、これで終わりました。</p> <p>ご質問をただ今からお受けいたします。ご質問等がございましたら恐れ入りますが、挙手にてお願いたします。</p>
<p>(市民①)</p>	<p>先に説明会を行った会場の質問事項をまとめたゲラを、なぜ用意しないのですか。ただ、マニュアル的なものを説明しているだけとしか思えません。「本当に富津は危ない」という感覚が見えてこないです。</p>
<p>総務部長</p>	<p>本日が 6 回目ですが、各会場でご質問をいただいております。新しい質問が出た際には、その都度、付け足して説明しております。紙媒</p>

	<p>体では、各会場で内容が違ってしまふ、そのことでかえってお叱りを受けてしまふと思われので、口頭での説明とさせていただきます。</p>
<p>(市民②-1)</p>	<p>今の説明だと、非常にいい環境で進んでいるような印象があります。全部プラス思考だということです。</p>
	<p>しかし、ある新聞では、平成 21 年度～25 年度で約 23 億円の赤字だったと言います。そして、平成 27 年度～31 年度までそのまま続くと、約 27 億 9,000 万円になるという見込みだそうです。マイナス思考が無く、平成 25 年度の決算をみると、どうも甘いと思います。職員だけでなく、議員の皆さんも一緒に節約して努力するという声を聞きません。もうひとつ、支出を減らすと言っている一方で、浅間山の例もあります。そういう裏があるなかで本当に改革は進むのでしょうか。職員削減にしても退職時に払う経費についてなど、具体的な説明は一つもありません。われわれ一般市民には全然情報が入ってきません。例えば、東電からの固定資産税や、商工会への補助金などです。</p>
<p>総務部長</p>	<p>議員報酬については、議会内の「議会改革推進委員会」で検討していると聞いております。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>まず、これまでの決算で赤字となったことはありません。また、約 27 億 9,000 万円の赤字見込みについては、今回お配りした資料の各年度の合計額となっています。また、資料がわかりにくいことについては、改善を心がけていきます。</p> <p>浅間山については、東日本高速道路株式会社が富津館山インターチェンジまでの区間を平成 30 年度までに 4 車線化します。市は、これに併せて、駐車場を備えた高速バスストップを計画しています。</p>
<p>(市民②-2)</p>	<p>先の東電の固定資産税ですが、6 億円と聞いています。3 年間で 18 億円なので、赤字要因となるのもわかります。また、会社が進出するたびに奨励ということで固定資産税を払っていない。この現状をみんなに伝えてください。特に市議会議員が先頭に立たないとだめですよ。</p>
<p>(市民)</p>	<p>具体的に言わないと、若い人でこのまちに住む人がいなくなりますよ。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>東電の固定資産税については、新しい設備投資がなく、償却資産も減価償却で評価額が下がり、税収として 30 億円程度あったものが現在は 23 億円程度となっております。法人市民税としては、約 2 億円あったものが、東日本大震災以降の東電の赤字で入らなくなっています。</p> <p>なお、均等割分は 300 万円が入っております。企業誘致の奨励については、納められた固定資産税を翌年度に、従業員などの規模に応じて支払うものとなっております。</p>

<p>総務部長</p>	<p>職員数については、今年の 4 月で 508 人となっています。また、平成 22 年度～27 年度の「定員適正化計画」があり、そこでは、平成 27 年度に 500 人を目標としています。今年度は定年・勸奨退職が 40 人程度となっており、新規採用は 3 人に絞っていますので、508 人から 37 人の削減となるので、目標は達成しています。</p> <p>また、新たに「定員適正化計画」を作成するなかで検討した結果、同規模かつ合併の影響がない自治体の職員数を参考に、5 年間で約 90 人の削減を進めていきたいと考えています。</p>
<p>(市民③-1)</p>	<p>富津市の人口を年齢別や、働いている人・働いていない人などで知りたい。</p> <p>また、臨時職員はいますか。いるとすれば、その人数は 508 人の数字に含みますか。職員というと全職員のことだと思います。</p> <p>また、住民の 100 人に 1 人が市役所という比率は 30～40 年前の話であって、現在は 200～300 人に 1 人という比率が適正だと思うので考えてください。</p>
<p>総務部長</p>	<p>508 人に入るのは常勤・非常勤一般職員で、臨時職員は 112 人ですがカウントには入りません。</p>
<p>(市民③-2)</p>	<p>では 600 人程度ではないですか。対して、市民の合計は何人ですか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>約 47,000 人です。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>住民基本台帳では、9 月末時点で 47,295 人です。</p>
<p>(市民③-3)</p>	<p>広報ふつつには、46,094 人とあります。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>その数字は、常住人口になります。</p>
<p>(市民③-4)</p>	<p>人口の分析もしないと、具体的な改革には至らないと思います。</p> <p>また、噂程度ですが、議員のなかには何か月も来ていない人がいる。それでも 1 年分の報酬を支払っているのですか。改革するというのであれば、時間給の導入を取り入れてもいいと思います。</p> <p>職員だけでなく全般で改革に当たってもらいたい。議員は「市民のため」とおっしゃるのであれば、こういう事態に対して話し合っ改革をともに進めるべきではないですか。</p>
<p>総務課長</p>	<p>貴重なご意見として承らせていただきます。</p>
<p>(市民③-5)</p>	<p>ご意見という問題ではなく、どのように回答するつもりですか。</p>
<p>総務課長</p>	<p>他の会場でも同様の意見がありました。</p>

<p>(市民③-6)</p>	<p>漠然と言っているだけでは何の意味もありません。行動するのであれば、具体的に、何を・いつまでに・どの程度行うのか、それが給料をもらっているあなた方の仕事ではないのですか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>財政担当として、そういったスピード感が求められるところですが、来年度の予算については、一般財源の 110 億円ですべての経費を賄います。収支不足が約 3 億円となっておりますが、市長の指示で、それを解消できるよう予算の編成をしています。この流れが、さらに先の収支見込みにも影響し、反映されますので、第一に取り組んでいます。</p>
<p>(市民④)</p>	<p>青堀地区の説明会をこの会場で行うと知り、「あれ？」と思いました。センセーショナルな話題なのに、住民会議は開かれません。8 月末の朝日新聞の記事にも説明会等の記載がありません。住民の負担が増すことは見え見えで、皆さんには余裕があるようですが、私はありません。非常に不思議です。</p> <p>日ごろ、広報や議会だよりを注視しているなかで、この事態を見落としてしまったことは反省していますが、この関係の記事を見ないまま、いきなり報道に上がったわけですが、市の上層部や議会の監査が機能すれば、ここまでの騒ぎにならなかったのではないかと思います。</p> <p>また、共産党の松原議員の記事を見たところ、富津市の財政力指数は県内 37 市のうち 7 番目とのことですが、これは何の意味があるのですか。</p> <p>最後に、これからの会議によその方が入るのはもっともなことで、今までは内々で行っていたのですが、これからは何人体制で行いますか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>会場選定については非常に申し訳なく思っております。説明会は市内 11 か所で、各区長などと調整した日程となっております。青堀地区については、青堀小学校も考えましたが、使用できなかつたので、ここに設定致しました。ただ、富津公民館や飯野コミュニティセンターなど他会場の参加も認めておりますので、ご理解いただきたいと思います。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>財政力指数については、普通交付税をもらう割合で算出されていて、県下で 7 番目となっております。</p>
<p>総務部長</p>	<p>経営改革会議については、5 人体制となります。</p>
<p>(市民⑤)</p>	<p>平成 25 年度決算の歳入－歳出の数字と、約 3 億円の赤字の収支見込みの違いは何ですか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>歳入は、税収や国などからの補助金の合計で、平成 25 年度決算では約 157 億 8,000 万円です。なお、一般財源とは、その使いみちを定めない収入となります。</p>

<p>(市民⑥-1)</p>	<p>平成 27 年度は 3 億円、平成 28 年度以降は 2 倍の 6 億円の赤字見込みですが、どのように改革をしますか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>現行の制度や、建設事業計画が将来の見込みに計上されているなかで、これらを平成 27 年度の予算編成で見直すことで、平成 28 年度以降の赤字額にも影響し、解消していきます。 なお、予算は議会の議決を経るため、来年 3 月に決定しましたら、皆さんにもお知らせいたします。</p>
<p>(市民⑥-2)</p>	<p>では、改革の内容は 3 月に間に合いますか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>すでに、改革内容に基づいた予算編成作業に入っています。先ほどの発言は、あくまでも手順という意味で申し上げました。</p>
<p>(市民⑥-3)</p>	<p>具体的に何をするのか分からないので、内容を提示してほしいです。今日の説明会も、広報の写しだけでなく、もっと資料を出してほしいです。</p>
<p>総務部長</p>	<p>具体的な内容については、経営改革会議のなかで、中長期的に行う事業について判断する予定です。なお、会議は今年度 5 回を予定しており、第 1 回を 31 日に予定しているなど、そのなかで決定して参りたいと思います。</p>
<p>(市民⑦)</p>	<p>市として、収入を高めなければならないと思いますが、新富に進出予定の企業や、進出するための用地はどれくらいありますか。また、新富以外で収入を増やせる要素はありますか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>新富の企業誘致は、千葉県企業庁の案件になるので、それに基づいて進めております。また、誘致済みの企業は 53 社で、処分できる土地約 380 ヘクタールのうちの 97%に企業が入っております。 なお、新富以外では、浅間山でメガソーラーが稼働したところです。雇用を創出する段階には至っておりませんが、ソーラーパネルが償却資産となるので固定資産税が入ります。</p>
<p>(市民⑧-1)</p>	<p>市長説明のなかで、市長 15%・一般職 4%の給与削減と聞きましたが、平均すると何%の削減になりますか。 例えば、人口がだいたい一緒の館山市では 17.4%、対して富津市は 23.5%と、約 5%も高いです。人件費を 6%削減すれば金額なら 2 億 4,000 万円削減できるはずですが。</p>
<p>総務部長</p>	<p>こちらにつきましては、主に消防費が関係します。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>消防関連につきましては、富津市が単独で行っているのに対して、</p>

	<p>館山市は一部事務組合で行っておりますので、それが人件費にも関係します。</p> <p>また、給与水準としては、県内 37 市で下から 2 番目の水準です。</p>
<p>総務部長</p>	<p>富津市の平均給与額は 35 万 512 円となります。それでも館山市の人件費が少ないのは、消防関係が市の人件費に入らない関係があります。</p>
<p>(市民⑧-2)</p>	<p>全員が平均 6%削減すれば「市は頑張っている」と言えますが、市長と職員で差があっては市長もかわいそうです。</p>
<p>総務部長</p>	<p>現状は先の説明のとおりですが、今後の検討課題になると思います。</p>
<p>市長</p>	<p>先ほども申し上げましたが、私が 15%、一般職が 4%削減しております。特別職については、今一度検討しておりますのでよろしく願います。</p>
<p>(市民⑨)</p>	<p>小さなことですが、市議会は市民と行政のパイプ役だと思えます。市民がここまで知らないということは、議員の皆さんが有権者に情報を提供していないからだと思えます。</p> <p>議員の皆さんにはさらに頑張ってもらい、有権者の意向を市に反映してもらい、市の情報を市民に提供する体制づくりができればもっと機能すると思えます。</p>
<p>(市民⑩-1)</p>	<p>館山道 4 車線化は国の事業で、バスストップもその関連事業だと思えます。</p> <p>また、減るばかりの財源ですが、増える見通しはありますか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>バスストップ事業は市の負担もあり、本体で 5 億円です。現在、市内に停まる高速バスが 30 便に対し、バスストップができれば 60 便がそこに停まる見込みですが、「聖域なき見直し」を実行するなかで、これも再検討します。</p>
<p>(市民⑩-2)</p>	<p>バスストップを作るメリットはありますか。降りる人はいないと思えますし、この地域の活性化には貢献しないと思えます。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>浅間山砂利採取跡地の利用を促進するなかで、雇用創出などによる収入増という形で貢献できると思えます。</p>
<p>(市民⑩-3)</p>	<p>メガソーラーにしても、市営ならその後も長く収入源になりますが、民営では市に直接のメリットは少ないのではないのでしょうか。借金してでも市営にして東電などに売電すべきではないのでしょうか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>収入を上げる手段として、今後検討して参ります。</p>

<p>(市民⑪)</p>	<p>メガソーラーについて、電力の買い取り価格引き下げや買い取り拒否で経営がうまくいっていない例があります。 また、こうして多くの皆さんが集まっているのですから、もっと市民が安心できる説明をしてほしいです。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>電力買い取りの枠がいっぱいになってきたという話があるなかで、浅間山は 1 キロワットあたり 42 円の契約で、すでに確保されています。</p>
<p>総務部長</p>	<p>具体的な案の提示について、この資料ではわからないという意見ですが、この資料の細部について、経営改革会議への意見や論議、市の考え方の提示をしたうえで決定します。経過は逐次お知らせしますが、そのなかで良いお知らせができるよう努力して参ります。</p>
<p>(市民⑫-1)</p>	<p>資料の中期収支見込みにある 5 年間の市税 376 億円、これでは赤字になると思います。一方で、平成 21 年度～25 年度の見込みでも 23 億円の赤字収支見込みだったと聞いていますが、実際は 44 億円の黒字になりました。 現在の東電は赤字という状態ではありますが、平成 27 年度～31 年度の東電の業績見込みはどうでしょうか。 また、太陽光発電を取り巻く環境が良くないなかで、万一、メガソーラーが破たんしても市に損害はないのでしょうか。 さらに、私はこの事態を「破たん」というより「非常事態」と見ていますが、一般企業なら経営合理化目的に合併も視野に入れる場面です。袖ヶ浦市はすでに否決しましたので、3 市で合併ができるか検討してください。 あと、経営改革会議は 10 人体制にして、学者とかではなく、すでに経営改革を行った実績がある経営者を入れてください。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>東電の償却資産は、平成 25 年度決算で 26 億円の評価をしていますが、減価償却で 2 億円／年ペースの下落となり、平成 27 年度に 21 億円、平成 30 年度には 14～15 億円程度になる見込みです。その後、新しい設備投資のお話もありますので、平成 31 年度は 2 億円程度改善する見込みです。</p>
<p>(市民⑫-2)</p>	<p>合計でどの程度になりますか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>その数字は計算しております。メガソーラーにつきましては、その土地自体が市ではなく民間のもので、現在は南エリア 27 メガ分が稼働しており、北エリアは 30 メガが稼働予定です。減価償却はありますが、約 6,000 万～7,000 万円の固定資産税を見込んでおります。</p>
<p>市長</p>	<p>合併のお話については、非常にエネルギーを必要とするものでありますので、2 市から 4 市に、あるいは 3 市から 4 市という段階的な合併はできないだろうと思います。現在、広域市町村圏事務組合で行って</p>

<p>企画財政部長</p>	<p>いる事務は 4 市で行っておりますので、私としては、合併は 4 市一度に実現させたいと考えております。</p> <p>現在、隣の君津市長選では、現職が合併推進のお話をしているようですが、これについては 4 市でお話する内容になりますので、まずは、広域事務組合でどこまで扱えるかが肝心だと思います。</p>
<p>総務部長</p>	<p>先ほどの東電の償却資産についてですが、減少分は約 12 億円となります。</p>
<p>（市民⑬-1）</p>	<p>経営改革会議の構成については、市町村担当の総務省の方もおります。学者はだめで経営者をいれてほしいとのことですが、1 人は財務に精通している方が必要なのでお願いをしているところです。経営者は 1 人入りますが、日本のみならず世界で活躍されている市内の方です。</p>
<p>総務部長</p>	<p>経営改革会議は、何回程度で区切る予定でしょうか。</p>
<p>（市民⑬-2）</p>	<p>今年度は 5 回開催予定ですが、相手との調整が必要な事項や公共施設の再配置など、中長期的に実施する事項を会議で仕分け・検討します。</p> <p>期間については、経営改革会議の条例が 9 月議会で承認され、条例中で委員の任期を 2 年、再任は妨げないと定めております。中長期的なこともあるため、5 年間を目処に進める予定ですが、前倒しで可能なものは、その都度進めます。</p>
<p>（市民⑭-1）</p>	<p>次の年度で 3 億円の赤字見込みがあるなかで、会議はダラダラやらず、早く市民が安心できるようにしてもらいたいです。今回の報道がなかったら、どの時点で動いたかを考えると、私はこの報道は遅いくらいだと感じます。</p> <p>市長自ら先頭に立ち、職員一丸となって取り組みます、というくらい元気になって推進してもらいたいです。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>資料下部の改革のなかに税収の確保とありますが、具体的な数字があれば教えてください。直近の市税収納率と滞納額、差押処分した単価・件数です。</p> <p>また、その数字をどこまで向上させるのかお聞きしたい。</p>
<p>（市民⑭-2）</p>	<p>平成 25 年度決算の収納率は 90.1%で、滞納額は約 8 億 1,000 万円です。処分に関する数値は、申し訳ありませんがこの場に資料がございません。</p> <p>市税の収納については、納税の義務と税収確保の 2 点から強化していきたいと考えております。その一つとして、いわゆる「天引き」である特別徴収の徹底をして参りたいと思います。</p>
	<p>固定資産税などは、特別徴収では対応できませんがどうしますか。</p>

<p>企画財政部長 (市民⑭-3)</p>	<p>先ほどのお話は個人市民税について申し上げたところです。 特別徴収の人が滞納するという事態はありえないと思います。</p>
<p>企画財政部長 (市民⑭-4)</p>	<p>現在、普通徴収で行っている事業所などについても、特別徴収できるよう話を進めております。なお、個人住民税の滞納額は 3 億 6,500 万円となっています。 そのうち、普通徴収の対象はどのくらいになりますか。</p>
<p>企画財政部長 (市民⑭-5)</p>	<p>具体的な資料はありません。 なお、固定資産税の滞納額については約 4 億円となります。 最初の話に戻りますが、それぞれの滞納額について、向上に向けての目標はありますか。</p>
<p>企画財政部長 (市民⑭-6)</p>	<p>確保すべきものは確保する方針ですが、数字について具体的なものは、申し訳ありませんが、今のところありません。ただし、市の収入にもつながるので、滞納額は減らしていきます。 目標額を定めて、それを達成できるように努力してください。</p>
<p>企画財政部長 (市民⑮-1)</p>	<p>そういった意見を伺いながら、強化に取り組んでいきます。 広報の発表から、今日まで約 20 日経過しました。予算編成と執行について、収入と支出のバランスを、今まではどの程度の間隔で確認していましたか。また、これからは間隔をどこまで縮めて市長が確認し、対応をしますか。 2 点目に、経営改革会議は、平成 27 年度予算編成に介入しますか。 3 点目に、編成方針について市長の命令とありますが、そのなかの、「職員の意欲・能力向上の経費を総務部が適切に計上すること」とありますが、その経費は何ですか。以上です。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>収支見込みについては、例年 11 月に公表しています。そのなかで、今回の事態を受け、前倒しで 8 月に市ホームページで公表したところです。今後の予算要求、新たな制度、直近の情報を踏まえて考えております。 また、予算編成はすでに始まっておりますが、経営改革会議で出た指摘・意見で可能なものは反映します。</p>
<p>総務部長</p>	<p>人件費の創意工夫については、職員の給料・手当を適切にしたなかで、現状でも時間外手当を払いきれているわけではありません。これも問題があるかとは思いますが、適正かという検討は必要だと思います。</p>

	<p>ます。</p> <p>給料本体については、市長以下全員の状況を考え、工夫して作るということですか。</p>
(市民⑮-2)	<p>行動に対するレスポンスが遅いと思います。具体的に「何%カット」ということがあってもいいと思います。来年度から赤字という差し迫った状況のなかで、実施した結果を早いうちに検討する必要があると思います。</p>
(市民⑯)	<p>経営改革会議のなかで、すぐにできること・時間がかかることを検討するとありましたが、この会議は平成何年度をゴールと考えておりますか。</p> <p>また、要望として、これからも収入が減るわけですから、5年・10年というレベルではなく、その先20年・30年のスパンで考えていただきたい。</p> <p>もう一点、一般会計とは別に、国保会計や介護会計は大丈夫でしょうか。</p>
総務部長	<p>経営改革会議は、いつを想定するというよりも、恒久的なあるべき姿として、歳入確保や人件費・物件費の具体的な目標を定めたいと考えています。</p>
企画財政部長	<p>国保や介護の会計は、医療費や高齢者の関係もありますが、これについてはある程度は大丈夫だと考えております。しかし、今後の動向は注視する必要があると思います。</p>
(市民⑰-1)	<p>生活保護世帯が大勢いると思いますが、まず人数を確認したい。</p> <p>また、月6万円弱の保護費と家賃分3万5,000円分が扶助の想定だったと思いますが、最近家賃分が3万7,000円になったと聞きました。これは本当ですか。</p>
企画財政部長	<p>生活保護は、世帯数で309世帯、人数で396人に扶助しており、金額では約6億円となっております。個別の金額はここでは分かりませんが、住宅扶助については、7,600万円となっております。</p>
(市民⑰-2)	<p>生活保護世帯がこれだけいると、市の財政を圧迫していると思います。</p>
企画財政部長	<p>生活保護世帯や障がい者への扶助関係は圧迫原因と認識しております。</p>
(市民⑰-3)	<p>巷では、私を含めた年金生活者、特に国民年金のみの場合は生活保護よりも低い給付水準です。また、生活保護だと国保・介護・家賃・医療費すべてタダなので、本当に市の財政の圧迫要因になっていると</p>

<p>企画財政部長</p>	<p>思います。</p> <p>より基準に適した審査によって対応したい。</p>
<p>(市民⑰-4)</p>	<p>生活保護費は 5 日に振り込まれていると思いますが、その日にお金をおろしてパチンコなどに使っているのを見かけます。パチンコのために保護費を出しているわけではありませんし、そういう人たちには出さないという事例もあります。本当に働けない人ならともかく、何もせず、遊んでいる人は問題があります。天引きがあるので、年金受給者でさえ厳しいです。むしり取られている感さえあります。</p>
<p>総務課長</p> <p>(市民⑱-1)</p>	<p>十分な審査をこれからもより心がけて参ります。</p> <p>他の人と話すなかで、「財政破たんになったらどうなるの。」という不安を皆さん持っていると思いますので、それについて答えてほしい。</p> <p>2 つ目に、夕張は 700%云々と言っていました、実際に視察された人はいますか。</p> <p>3 つ目に県内でも低水準の給与とのことですが、民間企業の平均は把握していますか。</p> <p>また、経営改革会議が有識者 5 人とのことですが、住民代表も加えて 5 人・10 人を越えた枠で行ってほしい。差し迫った課題なので強く要望します。</p> <p>あと、市内の生産人口が人数と、年齢別のデータは持っていますか。それから、個人住民税と法人市民税の比率、同様に個人と法人の固定資産税の比率を教えてください。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>まず、破たん時の仮定についてですが、配布した資料の「財政再生団体になったら」という場所に記載があり、国の管理下となるため、市の判断で行っていたサービスが制限されます。</p>
<p>(市民⑱-2)</p>	<p>具体的にどのような制限があるかお聞きしたい。</p>
<p>企画財政部長</p> <p>(市民⑱-3)</p>	<p>各種手数料の値上げやサービス水準の低下につながります。なお、再生団体となる基準は、一般財源に対する赤字比率が 20%を超えた時点です。</p> <p>いろんな数字を並べられても市民には伝わりません。</p> <p>例えば、メガソーラーがうまくいかなかったら市民 1 人当たりにしてどのくらいの負担があるのかそういうことを知りたい。</p> <p>把握していないならそれでいいです。</p>
<p>総務部長</p>	<p>民間の給与の話に移らせていただきます。さまざまな事業者があるなかで、今年度に千葉県の人件委員会が勧告した県内民間企業の平均は 38 万 6,949 円となっております。</p>

<p>(市民⑱-4)</p> <p>総務部長</p>	<p>中小企業・大企業の内訳はありますか。</p> <p>これについての内訳はありません。</p>
<p>(市民⑱-5)</p> <p>総務部長</p>	<p>全国レベルではどうなりますか。</p> <p>公務員給与の平均が 38 万 5,980 円で、今年度は公務員給与の方が 968 円低いという調査結果があります。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>生産年齢人口は、平成 26 年 4 月現在の住民基本台帳では、約 2 万 7,500 人となっています。</p> <p>最後に、住民税の個人・法人の比率ですが、約 23 億円に対して個人が約 20 億円、法人が約 3 億円となっています。</p>
<p>(質問⑱-6)</p> <p>企画財政部長</p>	<p>そのような数字を出してもらえればありがたいです。皆さんも納得すると思います。固定資産税の個人・法人の比率もお願いします。</p> <p>平成 26 年度決算で約 58 億円の固定資産税ですが、手元に個人・法人の内訳が分かる資料はありません。</p>
<p>(質問⑲-1)</p> <p>総務部長</p>	<p>市内のアサリやバカガイ漁師の収穫・収入が減っています。特に富津地区はアサリやバカガイが採れません。そのためか、生活費を稼ぐために漁師の奥さんが「むき子」をやっているのを見かけます。貝が減ってしまった原因を市で調査していますか。</p> <p>市でなくとも、県で調査している場合があります。情報提供をしてもらっています。また、排水関係はどのように行っているか調査をしています。</p>
<p>(質問⑲-2)</p> <p>総務部長</p>	<p>どの程度の規模で、アサリやバカガイが減っているか調査していますか。</p> <p>当市にも水産部門の担当があります。農林水産課です。そこが県の担当と連絡を取り合って、国や県の持つ情報を提供してもらっています。</p>
<p>(市民⑳)</p>	<p>市議会議員の皆さんがこの説明会に参加していないと、先ほどの女性も言っていました。この地区には 4・5 人の市議会議員がいます。</p> <p>市長はこれからも市内を回ると思いますが、その会場に必ず 1 人・2 人は市議会議員がいますか。選挙のときだけお願いされても何にもなりません。市議会議員の皆さんにも参加してもらい、どのように改革するかお聞きしたいです。</p> <p>17 人の議員報酬で約 1 億 5,000 万円費やしているのですから。顔を</p>

市長	<p>見せない議員を支援する皆さんも「後援会に入ってください」というお願いはやめてください。</p> <p>夜分遅くまで説明会にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。いろいろとご意見・ご要望をいただいたところでございます。</p> <p>皆さま方のご意見を受け止めまして、できるだけ早い時期に赤字がなくなるように、私をはじめ、職員と一緒に、また、市民の皆さんにご協力いただきながら、進めて参りたいと考えております。</p> <p>何としても破たんをさせないように、また、しないように頑張って参りますので、よろしくご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>ありがとうございました。</p>
総務課長	以上で説明会を終了させていただきます。

以上